

# 令和元年度 授業改善推進プラン

教科 外国語活動 (3年～6年) 担当氏名 林 美恵

<b>学校経営方針(学方向上に向けて)</b> わからないゼロを目指して ・ 必達目標の設定 ・ 校内研究と修養の充実 ・ 6年の移動教室は課題追求型 ・ 「分かる」「できる」授業への工夫 ・ 授業規律の徹底 ・ 学習環境の整備 ・ 言語文化を学校文化に	<b>専科目標</b> ○英語を楽しんで学ぼう。 ○積極的に英語で話そう。 ○自分の名前を英語で書けるようにしよう。
---	---

**研究テーマ** 追求する力を高める指導の工夫  
～地域の人・もの・ことを生かした指導の工夫～

**目指す児童像** 自らすすんで活動出来る子  
友達と積極的に外国語を使い楽しんで学習できる子

① 学習環境

●音声や視覚でも学べるように、デジタル教科書を活用する。  
●学習で使用する教材の充実を図る。

② 教科領域

**3年**  
授業改善に向けての目標  
○言語や文化についての理解を深め、日本語と外国語の音声の違いや、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。  
○身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなど伝え合う力を養う。  
○言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手立て  
○歌やチャンツ、ゲームなどを取り入れた活動を通して、音声の違いや表現に親しむことができるようにする。  
○デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。  
○デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。

**4年**  
授業改善に向けての目標  
○言語や文化についての理解を深め、日本語と外国語の音声の違いや、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。  
○身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなど伝え合う力を養う。  
○言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手立て  
○歌やチャンツ、ゲームなどを取り入れた活動を通して、音声の違いや表現に親しむことができるようにする。  
○デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。  
○デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。  
○自分の想いを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。

**5年**  
授業改善に向けての目標  
○コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりできるようにする。  
○自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。  
○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手立て  
○歌やチャンツ、ゲームなどを積極的に取り入れる。  
○デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。  
○アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。  
○デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。  
○自分の想いを伝え合うコミュニケーション活動を取り入れる。

**6年**  
授業改善に向けての目標  
○コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりできるようにする。  
○自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。  
○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手立て  
○歌やチャンツ、ゲームなどを積極的に取り入れる。  
○デジタル教材の活用を通して、異文化に触れ、理解を深める。  
○アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。  
○デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れ、全員が参加できるようにする。

# 令和元年度 授業改善推進プラン

教科 図工 担当氏名 伊藤 麻子

<b>学校経営方針(学力向上に向けて)</b> わからないゼロを目指して ・ 必達目標の設定 ・ 「分かる」「できる」授業への工夫 ・ 校内研究と修養の充実 ・ 授業規律の徹底 ・ 学習環境の整備 ・ 6年の移動教室は課題追求型 ・ 言語文化を学校文化に	<b>専科目標</b> ○すずんで造形的な活動や鑑賞に取り組む。 ○感性や想像力を働かせて、活動や作品を作り出す。 ○自分のイメージに合わせて表現方法を工夫する。
---	--

**研究テーマ** **追求する力を高める指導の工夫**  
～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像**  
自分の考えたことや想いを色や形を使って表現することの喜びを味わい、  
そのよさや美しさを感じとろうとする児童。

① 学 習 環 境

- 安全を第一に児童が活動しやすい環境を考え、整えていく。
- 道具、材料を精選し、準備・確認を常に行っていく。

② 教 科 領 域

**3年**  
授業改善に向けての目標  
○カッターや金づち等新しい道具の使い方を学ぶと共に様々な材料に触れ感じたことや考えたことを自分らしく表現する。

**主な手立て**  
○図工室でのルール(道具の扱い、話の聞き方、片付け)を何度も伝え、学習規律をみんなで守っていく態度を育てていく。  
○色々な道具・材料に触れ、造形感覚の基礎・基本を身につけることができるよう年間計画を立てる。  
○作品完成後には、鑑賞の授業をもち、友だちの作品のよさに共感したり、伝え合ったりする時間をもつようにする。

**4年**  
授業改善に向けての目標  
○のこぎり等の道具の正しい使い方を学ぶと共に様々な材料に触れ感じたことや考えたことを工夫して自分らしく表現する。

**主な手立て**  
○図工室でのルール(道具の扱い、話の聞き方、片付け)を何度も伝え、学習規律をみんなで守っていく態度を育てていく。  
○色々な道具・材料に触れ、造形感覚の基礎・基本を身につけることができるよう年間計画を立てる。  
○作品完成後には、鑑賞の授業をもち、友だちの作品のよさに共感したり、伝え合ったりする時間をもつようにする。

**5年**  
授業改善に向けての目標  
○これまでに学んできた道具や材料の経験を生かして、自分のイメージする表現になるよう創意工夫して表す。

**主な手立て**  
○図工室でのルール(道具の扱い、話の聞き方、片付け)を確認し、学習規律をみんなで守っていく態度を育てていく。  
○これまでの経験を発展させて活動できるよう題材を工夫するとともに一人一人の思いにあった指導できるよう準備をしていく。  
○鑑賞の授業を多くもち、豊かな感性を磨いていけるよう取り組んでいく。

**6年**  
授業改善に向けての目標  
○これまでに学んできた道具や材料の経験を生かし、自分の感性を大切に創意工夫のある造形活動を行う。

**主な手立て**  
○図工室でのルール(道具の扱い、話の聞き方、片付け)を確認し、学習規律をみんなで守っていく態度を育てていく。  
○これまでの経験を発展させて活動できるよう題材を工夫するとともに一人一人の思いにあった指導できるよう準備をしていく。  
○鑑賞の授業を多くもち、豊かな感性を磨いていけるよう取り組んでいく。

# 令和元年度 授業改善推進プラン

教科 音楽 担当氏名 石井 聡子/ 坂爪 三千代

<p style="text-align: center;"><b>学校経営方針(学力向上に向けて)</b></p> <p><b>わからないゼロを目指して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必達目標の設定</li> <li>・ 校内研究と修養の充実</li> <li>・ 6年の移動教室は課題追求型</li> <li>・ 「分かる」「できる」授業への工夫</li> <li>・ 授業規律の徹底</li> <li>・ 言語文化を学校文化に</li> <li>・ 学習環境の整備</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>専科目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らすすんで自発的に活動する意欲を育てる</li> <li>○ 楽しんで学習できる指導の工夫を心がける</li> <li>○ 音楽活動を通して豊かな情操を養い、一人一人の成長を一助する</li> </ul>
--	---

**研究テーマ**                      **追求する力を高める指導の工夫**  
 ～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像**

**自らすすんで自発的に活動できる子**  
**音楽を楽しんで学習できる子**  
**音楽活動を通して、友達の良さや音楽の美しさや力に気づくことができる子**

**① 学習環境**

- 換気をしっかり行い、健康的に授業を行う。
- 楽器の整頓や楽譜の整理などを徹底し、安全に気持ちよく学習活動ができるようにする。
- 楽器・オーディオ機器のメンテナンスに気を配り、楽器を大切に扱う。

**② 教科領域**

**2年**  
授業改善に向けての目標

○さまざまな音楽活動を通して、みんなで演奏することの楽しさを感じられるようにする。

**主な手立て**  
**表現**

○斉唱の曲を丁寧に歌い、友達と声を合わせることに楽しさを感じられるようにする。また鍵盤ハーモニカだけでなく打楽器など様々な楽器も使用し、友達と合わせて演奏することの楽しさを感じられる活動を取り入れるようにする。

**鑑賞**

○楽曲が持っている特徴の楽しさに気づき、楽曲全体を味わって聴くようにする。

**3年**  
授業改善に向けての目標

○お互いの歌声を聴き合いながら気持ちを合わせて歌うことができるようにする。またリコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付けるようにする。

**主な手立て**  
**表現**

○地声から自然で無理のない発声方法を身に付けるように楽曲の中のフレーズを取り上げ指導する。

○指が思うように動かない児童や苦手意識のある児童には、個別指導の時間を取り自信を持って演奏できるように指導する。

**鑑賞**

○楽曲の良さを自ら見付け、楽曲全体を味わって聴くことができるようにする。

**4年**  
授業改善に向けての目標

○お互いの歌声を聴き合い、綺麗な響きを感じながら歌ったり、みんなで音色を合わせる楽しさを感じたりするようにする。

**主な手立て**  
**表現**

○輪唱や簡単な二部合唱を取り入れ、お互いの声が重なった時の綺麗な響きをよく聴く。

○多くの楽器を用いた合奏を経験し、様々な楽器の音色を重ねる楽しさを感じられるようにする。

**鑑賞**

○楽曲や演奏の良さを見付け、曲想の変化と音楽の構造との関わりに関心を持って聴くようにする。

**5年**  
授業改善に向けての目標

○楽曲の雰囲気や曲意を自ら掴み、楽曲に応じた歌声で表現できたり互いの歌声や楽器の音色を聴き合いながら、全体の響きのバランスに気をつけて演奏することができるようにする。

**主な手立て**  
**表現**

○曲想を生かした表現の仕方を工夫しながら演奏することができるように指導する。また学び合い、友達と協力して音楽を作り上げる力を育てる。

○音の特徴や音色の違いを生かして、全体の響きに気を付けながら音色を工夫して演奏することができるように指導する。

**鑑賞**

○楽曲の曲想の変化を理解し、それらの動きが生み出す良さやおもしろさに気づくことができるようにする。

**6年**  
授業改善に向けての目標

○歌声や楽器が重なり合う色々な響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりすることができるようにする。また基礎的な能力や表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。

**主な手立て**  
**表現**

○学び合いの時間をつくり、友達と互いに協力して課題解決をする力と共に音楽を作り上げる活動を通して心を育てる。

○変声期を迎えた児童に対して今の段階の声を生かしながら無理のない表現活動に参加できるように指導する。

**鑑賞**

○楽曲の曲想の変化と、音楽の構造との関わりについて理解しながら、聴くことができるようにする。

# 令和元年度 授業改善推進プラン

教科 算数 担当氏名 代永 典子

<p>学校経営方針(学力向上に向けて)</p> <p>わからないゼロを目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必達目標の設定</li> <li>・「分かる」「できる」授業への工夫</li> <li>・校内研究と修養の充実</li> <li>・授業規律の徹底</li> <li>・学習環境の整備</li> <li>・6年の移動教室は課題追求型</li> <li>・言語文化を学校文化に</li> </ul>	<p>専科目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決型学習を軸として、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>○自分の考えを分かりやすく表現する力を育てる。</li> <li>○友達のと比べながら、自分の考えを深めることができる指導の工夫を心掛ける。</li> </ul>
---	--

**研究テーマ** 追求する力を高める指導の工夫  
～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像** 主体的に問題解決に取り組む子 ・自分の考えを分かりやすく表現する子  
いろいろな考え方を知り、自分の考えを深める子

① 学 習 環 境

- 学習事項を提示して学び合ったり、学習計画に合わせて必要な教具を揃えたりして、児童が意欲的に学習することができる教室環境を整える。
- 児童が基礎・基本をしっかり身に付け、互いに意見を交流して全体の考えを高めていけるように、ICTを有効に活用する。

② 教 科 領 域

3年  
授業改善に向けての目標

- 乗法、除法の習熟
- 小数・分数(基礎的内容)の確実な理解と習熟

主な手立て

- 一人一人の習熟の程度に合わせた習熟度別指導によって基礎的事項を段階的に指導し、かけ算九九の定着を含め、3年生の学習内容が確実に身に付くようにする。
- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。
- 定期的に四則計算の習熟を図る。
- 適切な応用・発展問題により、思考力の育成を図る。

4年  
授業改善に向けての目標

- 乗法、除法の習熟
- 小数・分数の加法、減法の習熟
- 概数、面積、平面図形や立体図形についての理解

主な手立て

- 一人一人の習熟の程度に合わせた習熟度別指導によって基礎的事項を段階的に指導し、4年生の学習内容が確実に身に付くようにする。
- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深め、思考力の向上を目指す。
- 定期的に四則計算の習熟を図る。
- 適切な応用・発展問題により、思考力の育成を図る。

5年  
授業改善に向けての目標

- 小数の乗法、除法の習熟
- 分数の加法、減法、乗法、除法の習熟
- 面積や体積の求積、比例、倍数と約数についての理解

主な手立て

- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深め、思考力の向上を目指す。
- 習熟度別指導の学習展開を生かし、習熟度に応じて段階的に指導、支援を行う。
- 習熟度に応じて、適切な応用・発展問題に取り組みさせることで、思考力・表現力の育成を図る。

6年  
授業改善に向けての目標

- 分数の乗法、除法の習熟
- 円の面積及び角柱などの体積の求積、拡大図と縮図、対称な図形についての理解

主な手立て

- 授業規律が身に付くように継続的に指導する。
- デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深め、思考力の向上を目指す。
- 習熟度別指導の学習展開を生かし、習熟度に応じて段階的に指導、支援を行う。
- 問題解決型学習を基本としながら、適切な応用・発展問題に取り組みさせることで、思考力及び表現力の育成を図る。

# 令和元年度 授業改善推進プラン

6年 1組	担任氏名	高原 佐知子
6年 2組	担任氏名	鈴木 勇真
6年 3組	担任氏名	横野 桂子

学校経営方針(学力向上に向けて)	学年目標
<b>わからないゼロを目指して</b> ・ 必達目標の設定 ・ 「分かる」「できる」授業への工夫 ・ 校内研究と修養の充実 ・ 授業規律の徹底 ・ 学習環境の整備 ・ 6年の移動教室は課題追求型 ・ 言語文化を学校文化に	○自ら課題をたてて学習を深めよう ○すずんで心や体をきたえ、いろいろなことにチャレンジしよう。 ○自分も友達も大切にし、共に成長しよう。

**研究テーマ** 追求する力を高める指導の工夫  
～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像** 学習問題を考え、情報を分析しながら、自分なりの考えをもてる子

① 学習環境

- 作品や学習事項を掲示することで、互いに認め合ったり、学び合ったりする教室環境を整える。
- 充実した学習活動を展開するため、学年と専科で連携を図ったり、外部講師等の力を活用したり、人的環境を整える。

② 教科領域

**国語**  
授業改善に向けての目標  
○ 叙述を基に心情や情景を読み取ったり、自分の経験を関係付けたりする力を身に付けさせる。  
○ 言葉で理解したり表現したりしながら、自分の考えを深めさせる。

主な手立て  
○ 文章の構成を捉えたり、叙述に戻って考えの根拠となる言葉をさせたりする活動をくり返し行う。  
○ 友達と考えを交流させ、いろいろな考え方を踏まえながら、個々の考えを構築する場を多く設定する。

**社会**  
授業改善に向けての目標  
○ 歴史や社会的事象に興味や疑問をもち、予想を立てて調べたことや考えたことを表現する力を育てる。

主な手立て  
○ 教科書や資料集から読み取ったことを話し合う場面を設定する。  
○ 情報を整理・分析し、自分の考えを表現する学習活動を意図的に設定する。

**算数**  
授業改善に向けての目標  
○ 分数の乗法、除法の習熟  
○ 円の面積及び角柱などの体積の求積、拡大図と縮図、対称な図形についての理解

主な手立て  
○ 授業規律が身に付くように継続的に指導する。  
○ デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。  
○ 習熟度別指導の学習展開を生かし、習熟度に応じて段階的に指導、支援を行う。  
○ 問題解決型学習を基本としながら、適切な応用・発展問題に取り組みさせることで、思考力及び表現力の育成を図る。

**理科**  
授業改善に向けての目標  
○ 自然の事物・現象について、見いだした問題について追及し、より妥当な考えをつくりだすことができる。

主な手立て  
○ 既習内容や事象提示をし、疑問や気付きをもたせて問題を見いだせるよう具体物や資料を効果的に提示する。  
○ より妥当な考えをつくりだせるよう、実験結果から分かったことや考えたことを話し合う活動を意図的に取り入れる。

**体育**  
授業改善に向けての目標  
○ 各種の運動の特性を味わい、基本的な技能を身に付ける。

主な手立て  
○ 運動のねらいが明らかになるような学習過程の工夫を行う。  
○ 友達とのかかわりの中で技能の追究ができるよう、場の工夫と学習形態の工夫をしていく。

**学活**  
授業改善に向けての目標  
○ よりよい学級をめざし、話し合いで解決する活動を通し、望ましい人間関係や社会参画の態度を身に付ける。

主な手立て  
○ 学級会を充実させ、自分たちで問題を見つけたり話し合ったりして解決する。  
○ 係、当番活動の充実を図り、働くことの意義を育める場を設定する。  
○ 委員会、クラブ、たてわり班活動など、特別活動面においても6年生としての意識をもたせ、計画的な実施を行えるよう、適宜声かけをする。

**総合**  
授業改善に向けての目標  
○ 児童が思いや願いをもち、主体的に学習課題を解決していく力を身に付ける。

主な手立て  
○ 地域教材等の開発をする。  
○ 児童の思考の流れがスパイラル状になり、課題が高まっていくような意図的な学習計画をたてる。  
○ 思考ツールを効果的に活用する。

**道徳**  
授業改善に向けての目標  
○ 物事を一面的に捉えるのではなく、子ども自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解できる。  
○ 道徳的価値を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすることができる。

主な手立て  
○ 自己を見つめる時間を十分にとり、多様な考え方や感じ方が引き出せるように発問を工夫する。  
○ 教材や学習形態を工夫する。(学習指導過程、役割演技・動作化、資料提示、話し合い、座席配置、補助資料ワークシートの活用 協力的指導 人材活用など)

**外国語**  
授業改善に向けての目標  
○ 自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養い、外国の文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

主な手立て  
○ デジタル教材の活用、歌やチャンツ、ゲームを取り入れる。  
○ アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。  
○ デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れる。

**家庭科**  
授業改善に向けての目標  
○ 自分の生活を見つめ、家庭生活を工夫していこうとする。

主な手立て  
○ 学習したことを生活に生かす過程を重視する。  
○ 実物投影機などの視聴覚機器を効果的に使い、わかりやすい指導を目指す。

# 令和元年度 授業改善推進プラン

5年 1組	担任氏名	笹川 皓紀
5年 2組	担任氏名	高橋 七緒
5年 3組	担任氏名	角井 慎

**学校経営方針(学力向上に向けて)**  
**わからないゼロを目指して**  
 ・必達目標の設定 ・「分かる」「できる」授業への工夫  
 ・校内研究と修養の充実 ・授業規律の徹底 ・学習環境の整備  
 ・6年の移動教室は課題追求型 ・言語文化を学校文化に

**学年目標**  
 ○課題をもって学習しよう  
 ○すすんで心や体をきたえよう  
 ○自分も友達も大切にして助け合おう

**研究テーマ** **追究する力を高める指導の工夫**  
 ～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像**  
**社会的事象から学習問題を考えることができる子。**  
**資料を読み取り、情報を整理・分析しながら自分の考えをもつことができる子。**

## ① 学習環境

- 作品や学習事項を掲示することで、互いに認め合ったり、学び合ったりする教室環境を整える。
- 児童の考えを全体で共有し、その考えを基に話し合い、全体の考えを高めていけるように、ICTを活用する。

## ② 教科領域

**国語**  
 授業改善に向けての目標  
 ○叙述を基に心情や情景を読み取ったり、自分の経験を関係付けたりする力を身に付けさせる。  
 ○言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ深めさせる。  
 主な手立て  
 ○文章の構成を捉えた上で、叙述に戻り、考えの根拠となる言葉を確認させる活動をくり返し行う。  
 ○友達と考えを交流させ、いろいろな考え方を踏まえながら個々の考えを構築する場を多くたてる。

**社会**  
 授業改善に向けての目標  
 ○国土や産業の様子、産業と国民生活との関連について関心をもてるようにする。  
 ○資料を正確に読み取る力を身に付けさせる。  
 ○資料を活用して、社会的事象について考えたり、調べたりして考えを深める。  
 主な手立て  
 ○グラフなどの基礎的な資料を正確に読み取らせ、気付いたことや疑問、自分の考えを表現する学習を設定する。

**算数**  
 授業改善に向けての目標  
 ○小数の乗法、除法の習熟  
 ○分数の加法、減法、乗法、除法の習熟  
 ○面積や体積の求積、比例、倍数と約数についての理解  
 主な手立て  
 ○授業規律が身に付くように継続的に指導する。  
 ○デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。  
 ○習熟度別指導の学習展開を生かし、習熟度に応じて段階的に指導、支援を行う。  
 ○習熟度に応じて、適切な応用・発展問題に取り組みさせることで、思考力・表現力の育成を図る。

**理科**  
 授業改善に向けての目標  
 ○予想を立て、問題発見能力を高める。  
 ○何のための実験なのかを理解する。  
 ○器具の適切な使い方を理解する。  
 主な手立て  
 ○根拠をとらせた予想を個々に書かせる。  
 ○仮説を検証するためにはどのような実験をすればよいか、また実験の条件制御についてノートに書く活動を行う。  
 ○考察の型を決め、実験を振り返り、まとめることができるようにする。

**体育**  
 授業改善に向けての目標  
 ○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止などについて理解する。  
 ○各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付ける。  
 主な手立て  
 ○課題やめあてを明確にし、友達と教え合ったり、活動を振り返ったりする場を意図的に設定する。  
 ○自己やグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付けられるような学習カードの工夫を行う。

**学活**  
 授業改善に向けての目標  
 ○よりよい学級をめざし、話し合い活動や主体的な活動を通し、互いによりよい人間関係を築けるようにする。  
 主な手立て  
 ○自分たちで考えて行動する力を付けられるよう、係活動や当番活動の充実を図り、男女ともに認め合える雰囲気をつくっていく。

**総合**  
 授業改善に向けての目標  
 ○思いや願いをもつとともにその実現に向けて、教科などで身に付けた知識や技能を相互に関連付け、主体的に学習課題を解決していく力を身に付ける。  
 主な手立て  
 ○事象に対して疑問や課題がもてるように支援する。  
 ○必要な知識、資料の読み取り方について、各教科で身につけた力と関連させて学習を進めていく。  
 ○情報発信力・表現力を養う場を設定する。

**道徳**  
 授業改善に向けての目標  
 ○物事を一面的に捉えるのではなく、子ども自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解できるようにする。  
 ○道徳的価値を自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う考え方や感じ方などを確かに想起したりすることができるようにする。  
 主な手立て  
 ○自己を見つめる時間を十分にとり、多様な考え方や感じ方が引き出せるように発問を工夫する。  
 ○その他指導法を工夫する。(学習指導過程、役割演技・動作化、資料提示、話し合い、席置配置、補助資料 ワークシートの活用 協力的指導 人材活用など)

**外国語**  
 授業改善に向けての目標  
 ○自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養い、外国の文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。  
 主な手立て  
 ○デジタル教材の活用、歌やチャンツ、ゲームを取り入れる。  
 ○アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。  
 ○デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れる。

**家庭科**  
 授業改善に向けての目標  
 経験や既習事項を活かしながら、家庭生活を工夫しようとする。  
 主な手立て  
 ○調理の基礎を身に付けられるよう、実演や実物投影機などを効果的に使いわかりやすい指導を行う。  
 ○裁縫の基礎を楽しみながら学べるよう、いくつかの制作をいれながら学習を進められるようにする。

# 令和元年度 授業改善推進プラン

4年 1組 担任氏名 大谷 和也

4年 2組 担任氏名 清水 章代

4年 3組 担任氏名 鹿毛 亜希子

学校経営方針(学力向上に向けて)	学年目標
<b>わからないゼロを目指して</b> ・必達目標の設定 ・「分かる」「できる」授業への工夫 ・校内研究と修養の充実 ・授業規律の徹底 ・学習環境の整備 ・6年の移動教室は課題追求型 ・言語文化を学校文化に	○めあてをもって学習しよう。 ○たくさんの友達と仲良く、元気に遊ぼう。 ○友達と力を合わせよう。

**研究テーマ** **追究する力を高める指導の工夫**  
 ～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像**  
 追究する価値のある学習問題を設定し・問いを立てられる子。  
 資料を読み取れる子。

**① 学習環境**

- 学習の経過が分かる掲示を心がけ、児童の学びに対する意欲を高める。
- 児童の作品を掲示・展示し、互いに認め合い、学び合う教室環境にする。

**② 教科領域**

<b>国語</b> 授業改善に向けての目標 ○言葉を正しく使い、文章を書く力を身に付ける。 ○読書の質を向上させる。  主な手立て ○毎日漢字練習を行い、漢字テストを実施する。 ○書く活動を意図的に取り入れる。 ○学校図書館や公共図書館を有効的に活用し、目的に応じた本が主体的に読めるようにする。 ○学校で読書する時間を定期的に設け、子どもが読書を習慣づけて行えるようにする。	<b>社会</b> 授業改善に向けての目標 ○すすんで社会事象に関わり、自分なりの考えをもてるようにする。 ○調べ方、まとめ方など社会科の学び方を身に付ける。  主な手立て ○地域素材を生かし、調べる方法や調べる視点を明確にして、学習問題に即して、観察や調査を行えるようにする。 ○資料を読み取り、資料をもとに自分なりに考え、表現できるようにする。 ○様々なまとめ方(新聞・ポスターなど)を経験させる。	<b>算数</b> 授業改善に向けての目標 ○乗法、除法の習熟 ○小数・分数の加法、減法の習熟 ○概数、面積、平面図形や立体図形についての理解  主な手立て ○一人一人の習熟の程度に合わせた習熟度別指導によって基礎的事項を段階的に指導し、4年生の学習内容が確実に身に付くようにする。 ○授業規律が身に付くように継続的に指導する。 ○デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。 ○定期的に四則計算の習熟を図る。 ○適切な応用・発展問題により、思考力の育成を図る。
<b>理科</b> 授業改善に向けての目標 ○実験を行う技能や正確に観察する力を身に付ける。 ○根拠をもって結果を予想したり、結果から考察したりする力を身に付ける。  主な手立て ○観点を明確化し、変化を具体的に見取るように指導する。 ○根拠をもたせるために、予想を立てる際に既習事項を振り返らせる。 ○結果を確かめ考察する方法を定着させるために、板書やワークシートを工夫する。	<b>体育</b> 授業改善に向けての目標 ○友達と関わり合い、認め合いながら、めあてをもって運動に取り組む態度を養う。 ○基本となる動きを身に付けさせる。 ○自分の体を支える力や握力を向上させる。  主な手立て ○場の設定や活動内容を工夫し、児童が関わり合う機会を積極的に設ける。 ○学習カードを活用し、児童が段階的に、課題をもって取り組めるようにする。 ○毎時間、体づくり運動を取り入れる。	<b>総合</b> 授業改善に向けての目標 ○学習課題の中から、自ら課題設定ができる力を身に付ける。 ○課題に合わせて調べる力を身に付ける。 ○適切な表現の仕方を身に付ける。  主な手立て ○地域の教材や人材を活用し、効果的に交流活動・体験学習を行う。 ○インタビュー・本・インターネットなど様々な調べ方を体験させる。 ○様々なまとめ方(新聞・ポスターなど)を経験させる。
<b>道徳</b> 授業改善に向けての目標 ○主体的な学びを促し、授業での学びを他教科や生活にいかせるようにする。  主な手立て ○自分だったらどうするか、何ができるかを考えさせる問いを含む教材や、道徳的問題の解決を考える場面を設定する。 ○登場人物になったつもりで演じたり、話したり、書いたりする教材を工夫する。	<b>学活</b> 授業改善に向けての目標 ○積極的に話し合い、自分の意見を発言できるようにする。 ○役割分担を通し、他者を尊重する態度を養い、よりよい話し合いの仕方を身に付けさせる。  主な手立て ○学級会ノートを使用し、一人一人が自分の意見を明確にもって話し合いに臨むようにする。 ○事前に司会グループで話し合いの流れについて計画を立ててから学級会を行うようにする。 ○学級会に積極的に取り組めるよう、学習用具の工夫を図る。	<b>外国語</b> 授業改善に向けての目標 ○言語や文化についての理解を深め、日本語と外国語の音声の違いや、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。  主な手立て ○デジタル教材の活用、歌やチャンツ、ゲームを取り入れる。 ○アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。 ○デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れる。

# 令和元年度 授業改善推進プラン

3年	1組	担任氏名	百瀬 由紀子
3年	2組	担任氏名	長瀬 将裕
3年	3組	担任氏名	前田 昌彦

学校経営方針(学力向上に向けて)	学年目標
<b>わからないゼロを目指して</b> ・ 必達目標の設定 ・ 校内研究と修養の充実 ・ 6年の移動教室は課題追求型 ・ 「分かる」「できる」授業への工夫 ・ 授業規律の徹底 ・ 言語文化を学校文化に ・ 学習環境の整備	○すすんで学習しよう ○たくさんの友達と遊ぼう ○友達の気持ちを考えよう

**研究テーマ** 追求する力を高める指導の工夫  
～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像** 追求する価値のある学習問題を設定し、問いを立てることができる子。  
資料を読み取る技能を身に付け、活用していく子。

**① 学 習 環 境**

- 学習の経過が分かる掲示を行う。
- 児童の作品を掲示・展示し、互いに認め合い、学び合う教室環境にする。
- 教材や教具、場の設定などを工夫し、児童が学びやすい環境を整える。

**② 教 科 領 域**

<b>国語</b> 授業改善に向けての目標 ○言語事項の確実な習得 ○文章を読むことによる理解の定着  主な手立て ○漢字テストを定期的実施し繰り返すことで理解の定着を図る。不合格者には再テストを実施する。 ○音読を宿題として出し、毎日文章を声に出して読む習慣を付ける。 ○読書の時間を定期的に設け、多くの文章に触れさせる。	<b>社会</b> 授業改善に向けての目標 ○見学や調査の仕方の基本を身に付けさせる。 ○地図や資料から読み取ったり、調べたことや考えたことを表現したりする力を身に付けさせる。  主な手立て ○見学や調査、取材活動に取り組みさせる前に、調べる視点や、聴き方の基本事項を十分に理解させる。 ○地図や新聞などを段階的に活用し、読み取り方や記入の仕方を理解させる。 ○調べたことを考えたこと等を説明したり、まとめたりする場面を意図的に設定する。	<b>算数</b> 授業改善に向けての目標 ○乗法、除法の習熟 ○小数・分数(基礎的内容)の確実な理解  主な手立て ○一人一人の習熟の程度に合わせた習熟度別指導によって基礎的事項を段階的に指導し、かけ算九九の定着を含め、3年生の学習内容が確実に身に付くようにする。 ○授業規律が身に付くように継続的に指導する。 ○デジタル教科書を有効に活用して、視覚的な支援を充実させながら児童の理解を深める。 ○定期的・四則計算の習熟を図る。 ○適切な応用・発展問題により、思考力の育成を図る。
<b>理科</b> 授業改善に向けての目標 ○自然事象について主体的に考え考察する態度の育成  主な手立て ○予想から考察まで、児童一人一人が興味をもって取り組み、全員が自分の意見をもつことができるようにする。 ○学習課題を児童の日常生活に結びつける。 ○ICT機器を活用した補助的な理解ができるようにする。 ○授業の流れを明確にするノート指導を繰り返す。	<b>体育</b> 授業改善に向けての目標 ○友達と関わり合い、認め合いながら、積極的に運動に取り組む態度を養う。 ○基本となる動きを身につけさせる。 ○自分の身体や器具・用具の使い方を知り、安全に運動に取り組もうとする態度を養う。  主な手立て ○場の設定や活動内容を工夫し、児童が関わり合う機会を積極的に設ける。 ○学習カードを活用し、児童が段階的に、課題をもって取り組めるようにする。 ○身体や器具等について学ぶ時間を設ける。	<b>総合</b> 授業改善に向けての目標 ○自ら課題を設定する力を身に付けさせる。 ○書籍やインターネットを活用して、課題解決に必要な情報を集めることができるようにする。 ○学習したことを表現できるようにする。  主な手立て ○子どもの意欲や願い、思考の過程を大切に活動計画を立てる。 ○課題解決に必要な情報収集ができるよう、図書資料の貸し出しを利用したり、ゲストティーチャーを招いたりするなど、学習環境を整える。
<b>道徳</b> 授業改善に向けての目標 ○集団や社会のきまりを守り、協力したり助け合ったりする態度を身に付けさせる。  主な手立て ○身近に感じることができる資料の選択や資料の提示の仕方を工夫する。 ○資料をもとに、自分こととして振り返られる時間、学級で話し合う時間を意図的に設定する。	<b>学活</b> 授業改善に向けての目標 ○係、当番活動や学年レクの取組みを通して、自分の意見を述べたり、友達と協力して活動したりする力を身に付けさせる。  主な手立て ○活動の内容を明確にする。 ○活動の時間を確保する。 ○計画→活動→振り返りの流れをつかませ活動に取り組ませる。	<b>外国語</b> 授業改善に向けての目標 ○主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。  主な手立て ○デジタル教材の活用、歌やチャンツ、ゲームを取り入れる。 ○アクティビティの説明を英語とジェスチャーで行う。 ○デモンストレーションを必ず見せ、見れば分かるような活動を取り入れる。



# 令和元年度 授業改善推進プラン

2年	1組	担任氏名	喜多 温季奈
2年	2組	担任氏名	杉岡 澄子
2年	3組	担任氏名	柳 志穂
2年	4組	担任氏名	武山 真治

<b>学校経営方針(学力向上に向けて)</b> わからないゼロを目指して ・必達目標の設定 ・「分かる」「できる」授業への工夫 ・校内研究と修養の充実 ・授業規律の徹底 ・学習環境の整備 ・6年の移動教室は課題追求型 ・言語文化を学校文化に	<b>学年目標</b> ○楽しく学習しよう ○仲良く遊ぼう ○みんなで助け合おう
--	---

**研究テーマ**                      **追求する力を高める指導の工夫**  
 ～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像**  
**課題を見つけ、すすんで解決する子**  
**資料を活用して、課題に取り組む子**  
**友達と意見を交流し、気付きを深められる子**



# 令和元年度 授業改善推進プラン

1年 1組 担任氏名 飯守 菜奈

1年 2組 担任氏名 佐々木 祥子

1年 3組 担任氏名 小林 信輔

1年 4組 担任氏名 小林 志織

<p style="text-align: center;"><b>学校経営方針(学方向上に向けて)</b></p> <p><b>わからないゼロを目指して</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必達目標の設定</li> <li>・ 「分かる」「できる」授業への工夫</li> <li>・ 校内研究と修養の充実</li> <li>・ 授業規律の徹底</li> <li>・ 学習環境の整備</li> <li>・ 6年の移動教室は課題追求型</li> <li>・ 言語文化を学校文化に</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>学年目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○楽しく学ぼう</li> <li>○元気に遊ぼう</li> <li>○みんなと仲良くしよう</li> </ul>
--	--

**研究テーマ**  
**追求する力を高める指導の工夫**  
 ～地域の人・もの・ことを生かした授業づくりを通して～

**目指す児童像**  
**課題に対して、すすんで考え意欲的に取り組む子**

